

2013年9月26日

各位

DAIKYO 大京グループ

防災に関する新たなマンション生活に向けた取り組み
住戸専用防災備蓄倉庫「LIFETY Storage」を開発
～ライオンズ リビング ラボの新品としてライオンズ須磨離宮公園で初採用～

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口陽）にて活動中の、お客さまと一緒にモノづくりを行う取り組み「Lions Living Labo（ライオンズ リビング ラボ）」では、L's Kitchen(エルズキッチン)をはじめ、マンション内の設備仕様や収納、空間提案において、実際に使う方の目線で研究開発する取り組みを行っており、今までにも19商品51アイテムの実現化をしてきました。

このたび、防災に関する新たなマンション生活に向けた取り組みとして、防災への備えを日常生活の中に無理なく組み込むことが可能となるよう各住戸専用の防災備蓄倉庫「LIFETY Storage（ライフティ ストレージ）」を開発し、11月発売予定の「ライオンズ須磨離宮公園」（兵庫県神戸市、鉄筋コンクリート造地上7階建て、総戸数99戸）で初採用することとしましたのでお知らせいたします。

■「LIFETY Storage（ライフティ ストレージ）」商品概要

住み慣れた自宅マンションに、家族みんながわかる場所に各住戸専用の防災備蓄倉庫があれば、備蓄もしやすく、また、いざというとき防災用品や食料品をすぐに取り出すことが可能です。

さらに備蓄した食料品は、取り出しやすくすることで入れ替えを容易にし、賞味期限が近づいた食料品を消費することにより、日常生活において防災への備えを無理なく準備できるようにするために、本商品を開発しました。

<上段>

- ・便袋（標準設置）
- ・キュービージャグ（標準設置）

<中段>

- ・取り出しやすい場所なので、賞味期限の管理が必要な食料品を保管できるスペースとして利用。
- ・ご入居時にアルファ米10食をプレゼント。
- ・大京アステージと共同開発した「LIFETY KIT（防災ボックス）」をご入居時にプレゼント。

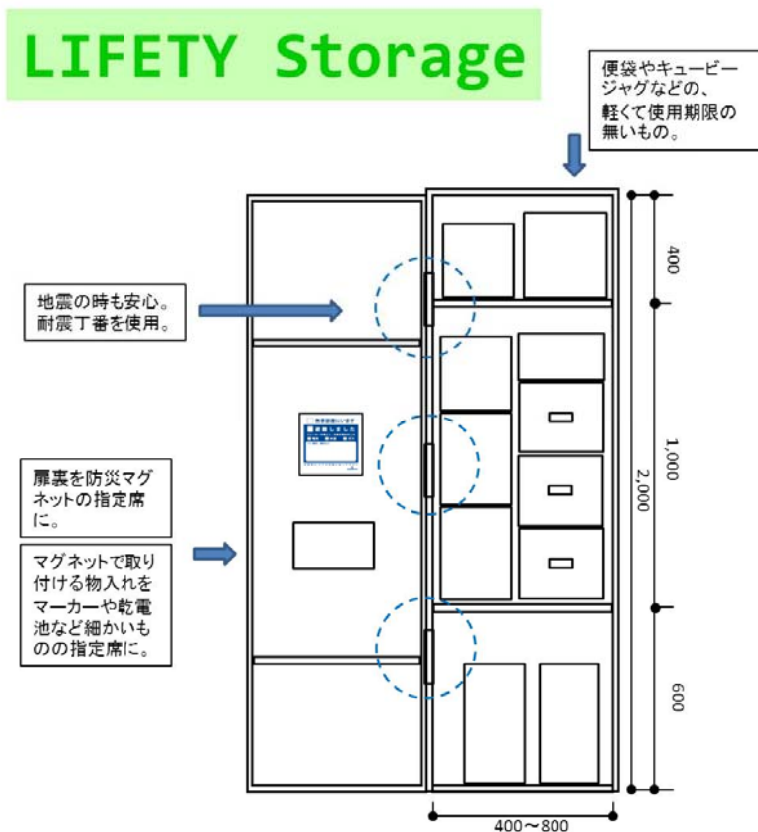
<下段>

- ・重たい水や飲み物を保管するスペース

<扉裏>

- ・防災マグネットを貼り付けできます。（ご入居時プレゼント）

※住戸専用防災備蓄倉庫の内容については変更になる場合があります。また物件によって内容が異なる場合があります。



■「LIFETY Storage (ライフティ ストレージ)」開発の経緯

2011年3月11日の東日本大震災を機に、全国的に防災意識が高まり、現在も行政や自治会、マンション管理組合等で防災備蓄倉庫の設置・整備が進められています。そのような取り組みが進む中で、政府は2012年9月に防災備蓄倉庫(床面積部分)を建築物の容積率の算定から一定面積を除外する法改正(※1)を行いました。

(※1) 建築基準法施行令第2条第1項及び同条第3項の改正：専ら防災のために設ける備蓄倉庫の用途に供する部分、蓄電池(床に据え付けるものに限る)、自家発電設備及び貯水槽を設ける部分について、その床面積を一定の範囲内で容積率の算定の基礎となる延べ面積に算入しない。

新たに開発した住戸専用防災備蓄倉庫「LIFETY Storage (ライフティ ストレージ)」は法改正による容積率算定の床面積からの除外が適用され、かつ大京グループが今までに経験してきた多くの震災から得た知見を元に開発した商品です。

災害発生時は避難所で避難生活を送るとというのが一般的な認識であると思いますが、避難所は自宅が倒壊した方が優先され、また最初の数日間は避難所に物資が届かないこともあります。避難所での慣れない生活環境はストレスも大きく、睡眠や着替え、食事などについてもプライバシーが守られなくなる場合が多く見受けられました。一方で、東日本大震災において、東北6県のライオンズマンションの被害状況は、致命的な被害や大規模な補強・補修を要した物件は0棟、相当な補修(タイルの剥離・ひび割れ補修等)を要した物件が6棟、残る物件は殆ど損傷がないもしくは被害なしという状況(当社調べ)でした。

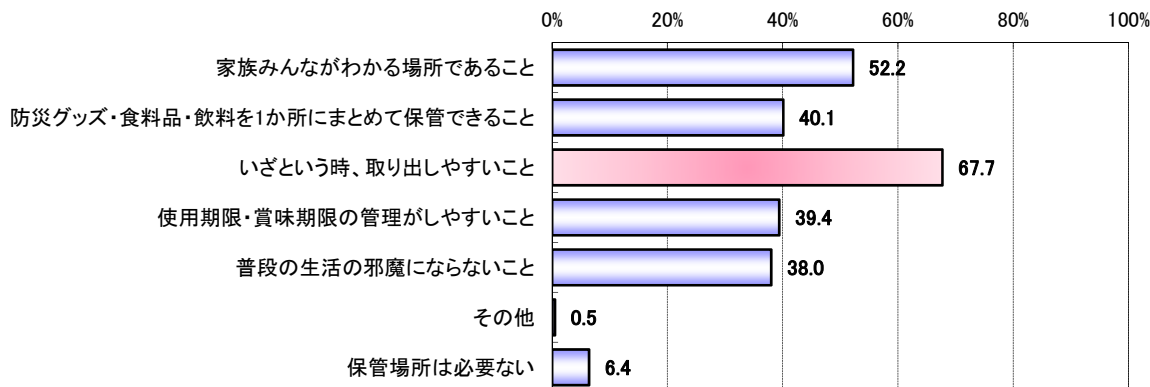


ライオンズ須磨離宮公園のマンションギャラリーに展示される「LIFETY Storage (ライフティ ストレージ)」

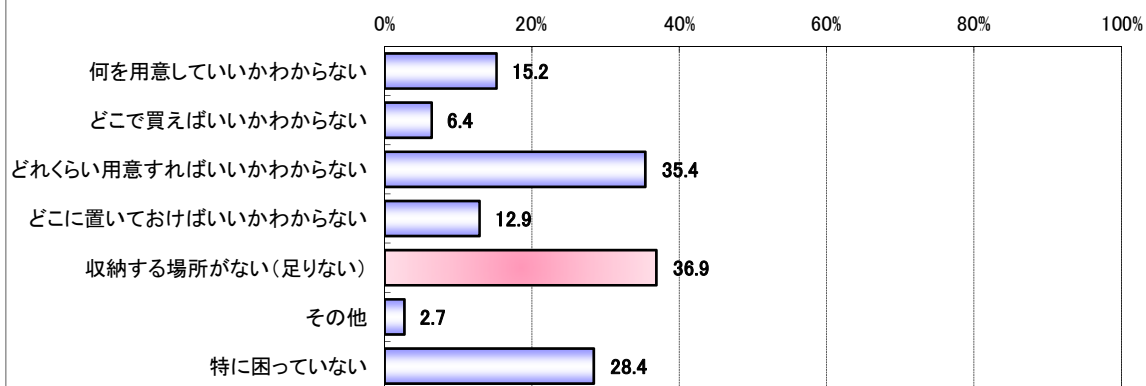
■ライオンズ リビング ラボの調査

ライオンズリビングラボでは、定期的にモニター座談会やインターネットでのアンケート調査を行っております。最近の防災用品に対する調査では、「防災用品は用意しているが、収納場所が無く玄関にリュックのまま置きっぱなしになっている。本当は玄関周りをすっきりさせたい。」「防災用品を収納したら、本来収納しておきたいものが入らなくなってしまった。」「防災用品は家族みんながわかる場所にしまっておきたいけれど、今の住まいではスペースが無い。」「防災用品の準備はしているけれど、1か所にまとめて保管できていない」等のお声が多く聞かれました。

Q: 防災グッズ・食料品・飲料を備蓄する保管場所に必要なこと、求めることは何ですか。
あてはまるものをお選びください。(いくつでも) (n=1906)



Q: 防災グッズの準備や食料品・飲料の備蓄などで、お困りになっていることはありますか？あてはまるものをお選びください。(いくつでも)
(n=1906)



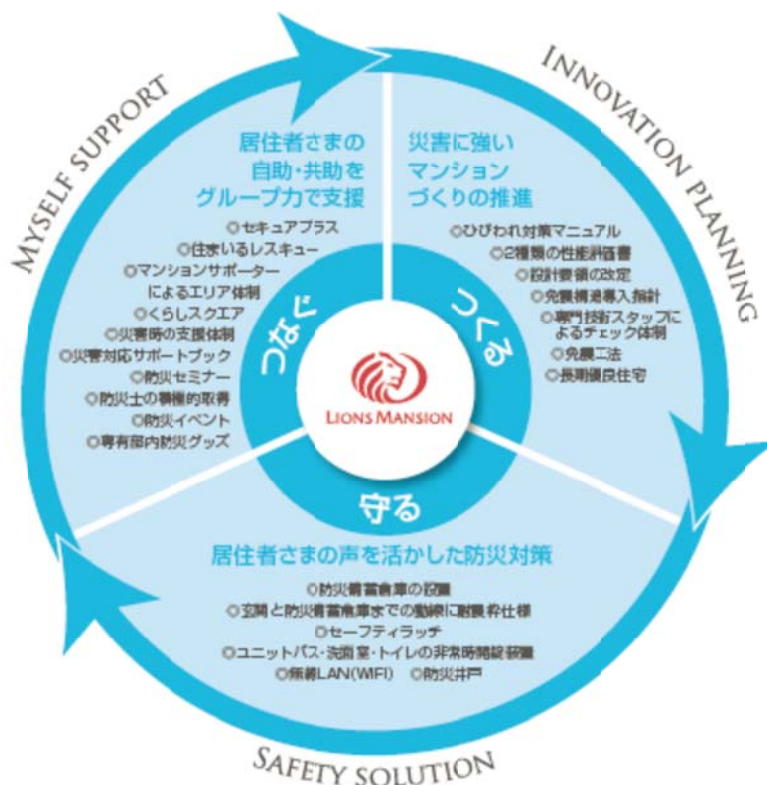
※このアンケートは2013年7月22日～31日に大京グループのファミリーファーストクラブ・くらしスクエアの会員様を対象に行っております。

LIONS SAFETY ACTION

■大京グループの防災への取り組み

大京グループではこれまで、「ライオンズセーフティアクション」として、「つくる」「守る」「つなぐ」をキーワードに防災の取り組みを行ってまいりました。

東日本大震災以降、共用部に標準仕様として導入していた「防災備蓄品」の内容の充実、マンション共用部の災害時対応機能としてWi-Fi設備の整備や共用部の鍵管理方法の変更等の「共助」を強化、また「自助」の強化のため、居住者向け防災備蓄品のパッケージ商品「LIFETY KIT」に加え、「LIFETY Storage (ライフティ ストレージ)」をこのたび開発いたしました。



■「ライオンズ須磨離宮公園」物件概要

所 在：兵庫県神戸市須磨区若木町4丁目3番以下未定(住居表示)

交 通：山陽電鉄本線「東須磨」駅下車徒歩7分
山陽電鉄本線「月見山」駅下車徒歩9分
JR山陽本線「須磨海浜公園」駅下車徒歩14分

用 途 地 域：第一種中高層住居専用地域

規 模 ・ 構 造：鉄筋コンクリート造、地上7階建て、共同住宅

総 戸 数：99戸(住戸)

敷 地 面 積：3,641.76㎡

専 有 床 面 積：66.74㎡～90.65㎡

間 取 り：2LDK+N～4LDK

竣 工 日：平成26年9月24日(予定)

入 居 開 始 日：平成26年9月26日(予定)

販 売 予 定 時 期：平成25年11月中旬

施 工：株式会社長谷工コーポレーション

設 計：株式会社長谷工コーポレーション
エンジニアリング事業部

売 主：株式会社大京



■参考資料

- ・災害時のマンション生活の安心に向けたパッケージ商品
～マンション居住者向け「防災ボックス」を開発～

<http://www.daikyo.co.jp/dev/files/20121012.pdf>

◆このニュースリリースに関するお問い合わせ先 株式会社大京 広報室 (今福・飯田) ◆

Tel : 03-3475-3802